



交通事業本部 交通第 2 部
技術士（総監・建設） 鈴木 正良

このたび、私どもが受注した「一般国道 238 号 浜頓別町 浜頓別橋耐震設計外一連業務」におきまして、平成 25 年度 北海道開発局優良工事等表彰（部長賞：業務部門）を受賞させて頂き、誠にありがとうございました。関係各位に対しては、心から御礼申し上げます。

まずは、当該業務について簡単ではありますが、紹介させていただきます。

本業務は、一般国道 238 号の浜頓別町に位置する「浜頓別橋」「クッチャロ橋」、枝幸町に位置する「新千鳥橋」「美雪橋」について、大規模地震発生時の広域的で迅速な災害支援を行う緊急輸送ルート確保を目的として耐震補強設計を行ったものです。

また、浜頓別橋では橋脚柱補強のみならずケーソン基礎の補強が必要となり、仮設費を含め補強費用が嵩む状況であったとともに、オホーツク沿岸部からの津波遡上による影響も懸念されたため現橋活用案に加えて新橋架け替えについても予備検討し、今後の事業計画の基礎資料を作成しました。

本業務においては、弊社保有の非破壊試験機の活用や、既往資料が残存しないケーソン基礎に対する近隣の同年代橋梁の資料を活用・検証した復元設計の実施など精度の高い現橋構造の評価と設計への反映を行ったこと。加えて、様々な橋種に対して周辺環境や交通環境が異なる条件に対応し、一つ一つ適切な耐震補強工法を判断するとともに、円滑な対外協議を実施するための資料作成や打合せ等における発注者との連携を含めた、コンサルティング全体が高く評価されたと考えております。

私どもは今後とも、現行の耐震基準を満たさない橋梁に対し、被災時の円滑な救急・救助活動や緊急物資の輸送、復旧活動の支援等において重要な役割を果たせるよう耐震安全性の確保に向けて努力していく所存です。

最後に、本業務においては管理技術者として担当させて頂きましたが、本業務の実施にあたり、ご指導頂いた稚内開発建設部および浜頓別道路事務所の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。